

# 根来山げんきの森だより 145号

根来山げんきの森倶楽部  
<http://genkinomori.jp/>

## げんきの森 12月・1月のお知らせ ○2/5 (日) 七草かゆとお餅つき

げんきの森では、旧正月の時期に合わせて七草かゆとお餅つきを楽しむ会を開催しています。参加ご希望の方はお早めにお申込み下さい。

日時：2月5日(日) 9:30~13:00

日程：9:30 受付開始

- 10:00 春の七草観察と七草かゆ・お餅つき  
よもぎ餅・ゴギョウ餅・ピーナッツ餅など  
いろいろなお餅を皆で搗きましょう。
- 12:00 七草かゆと搗いたお餅をみんなで分けて  
食べましょう。

参加費：大人 500円 小中学生 300円 (幼児無料)

定員：50名

申込み：氏名・住所・年齢・電話番号を電話、FAX、E-メールでお知らせ下さい。番号、アドレスは裏面「活動予定」の下をご覧ください。

締切：2月3日(先着順で定員になり次第締め切ります)

## ○1/13(金)~大谷川の橋の架け替え工事

以前にお知らせしましたが、1月13日~17日の間に解体・新築工事をする予定です。大谷新池から根来寺の駐車場へ向かう道の途中に橋があります。工事の期間中この道が通れなくなる可能性がありますので、ご注意ください。工事の詳細がわかればお知らせします。

## ○12/27(火)~1/3(火) は年末・年始の休園日です

## 根来山の草木 ヒマラヤザクラ (バラ科)

げんきの森に季節外れのサクラの季節がやってきました。公園が開園した平成14年に記念植樹したヒマラヤザクラが大きく育ち、きれいな花を咲かせたのです。

名前の通りヒマラヤを中心にインド北部から中国西南部にまで見られる樹木です。

ヒマラヤ地方はサクラの仲間のふるさとだと考えられており、日本では春に咲くのが当たり前のサクラですが、ふるさとのヒマラヤ地方には秋に咲くものがあるのです。

葉は10月にはいったん落葉し、11月に入ると花より少し早く葉を広げます。艶のある鮮やかな緑でヤマザクラよりやや厚めの葉です。サクラの花はミツバチなどの昆虫が花粉を運んでもらって受粉しますが、日本の冬は寒くあまりミツバチは飛びません。げんきの森ではミツバチの代わりにメジロが蜜を吸いに集まって来ているので、昆虫の代わりに野鳥が花粉を運



でいるのかもしれませんが。年が明けた頃にヤマザクラよりは大型の青い実がたくさん実ることがありますが、霜に打たれ熟すことはめったにありません。それでも、過去に数個、黒く熟したことがあり、口に入れるとけっこう美味しかったのを覚えています。

ヒマラヤザクラは二酸化炭素の吸収量がソメイヨシノの5倍もあり、地球温暖化防止に役立つとの報告もあるようですが、いったいどんな風に比較するのでしょうか。

幹は堅く、枝は杖として重宝するといえます。たくさん枝が出てきたら、ヒマラヤザクラの杖でも作って貸し出ししてみましようか。

管理棟広場の北側に数本植えられており、目の高さで花をご覧になれます。お早めにご覧ください。







## 根来山げんきの森 12月～1月の催し

**昆虫調査隊員募集中**：基本的に子どもを中心に、その保護者と活動しています。活動日は毎月第2日曜日。昆虫の好きな方は参加してみてください。

**倶楽部員募集中**：私たちと一緒に、森林公園の整備やいろいろな活動をする仲間を求めています。いつからでも入会できます。

**写真(A4)募集中**：根来山げんきの森で撮った写真を募集しています。

### ふれあいの森プレーパーク

--1月～2月はお休みです--

次回は来年の3月5日(日曜)です。来年の春にお会いしましょう。

### 1/7(土) 自然観察会

寒い冬でも植物たちは静かに活動を続けています。そんな新年の里山を倶楽部員と観て歩きましょう。

日時：1月7日(土) 13:00～15:00

参加費：200円(小学生以上)

申し込み：当日でも結構です。管理棟へお申し込み下さい。



今年  
1月  
の観  
察会  
より

### 作業日誌より

【巣箱外し】10:00～15:00

午前中はクラブ員4名で、午後は3名での作業です。回収・点検した巣箱33個のうち巣立ちが確認できたのは6個。巣立ち率18%でした。ここ5年間ほどでの最低が37%ですから、極端に低い巣立ち率です。もう一つ今回の特徴をあげると、巣作りを始めているのに卵を産む前の産座をつくるまでに至らずに、途中放棄されたものが15個(46%)もあったことです。

### 根来山げんきの森倶楽部の活動と催し

- 12月 18日(日)9:30～定例活動・近大社会奉仕実習
- 24日(土)10:00～竹細工同好会
- 26日(月)9:00～大掃除・近大社会奉仕実習
- 27日(火)～1月3日(火)休園
- 1月 4日(水)9:00～自主開園(9～16時)～2/28日(火)
- 7日(土)13:00～自然観察会
- 16:00～運営会
- 13日(金)9:00～大谷側木橋工事(～17日(火)予定)
- 15日(日)9:30～定例活動
- 22日(日)13:00～ネイチャーゲーム
- 26日(木)12:00～恵み体験(鳴滝小)
- 27日(金)12:00～恵み体験(上名手小)
- 28日(土)10:00～竹細工同好会

それぞれの活動のお問い合わせは事務局または管理棟(Tel&FAX0736-61-7233)まで。火曜定休日  
事務局 E-mail : forest-o@ares.eonet.ne.jp

この二つの現象の一番の原因は、今年のがやチョウの幼虫であるイモムシ・ケムシの発生がたいへん少なかったことにあると考えられます。つまり営巣・産卵・子育てのための時期の餌不足です。巣立ったと思われる巣箱に1羽の雛が死んで残っていました。病気や事故の可能性もありますが、餌が足りずに死んだとも考えられます。

この巣箱を設置する際、いくつか試みをしました。一つは今まで設置したことのない大谷川沿い、大谷新池の周辺ですが、まったくダメでした。周囲は主にヒノキの人工林で、シジュウカラなどの好む環境ではなかったのです。もうひとつは、オオルリ用の巣箱ですが、これも空振りに終わりました。

今年は多様な生き物の形跡が見られました。ハチの巣や、アシナガバチの仲間が入っていたのが5か所。アリの巣が確認できたのが2か所。ヤモリが入っていたのが2か所。カタツムリ、ヤマナメクジがそれぞれ1か所。特筆すべきものとしてヒメネズミの巣があります。ねぐらや、子育ての場として木の葉を詰め込んだ巣箱が全部で5個もあり、そのうちの一つからは、1匹の親と4匹の子があわてて逃げだすのを確認できました。

こんなふうに見てくると、巣箱を設置するということは、単に鳥の繁殖を助けるということだけでなく、森にすむいろんな生き物がねぐらや、子育ての場として利用できる「樹洞」を提供しているという側面もあるのだなと気づきました。(一部省略)